



## ベヘモトプス25周年

### 発見 発掘 化石作業所 博物館 復元 正式学名

## 写真展「ベヘモトプスの25年」

1980年8月、茂螺湾からベヘモトプスの化石が、矢吹勝家さん、矢吹勝美さんによって発見されました。第1標本発見から4年目のことです。

1980年11月、ベヘモトプスのほぼ全身の骨格化石が発掘されました。

1980～1983年、矢吹さんたちは、クジラの化石を次々と発見しました。

1984年、発見者である矢吹勝家さん、矢吹勝美さんから寄贈を受け、足寄町は、公民館に「足寄化石作業所」を開設しました。江口健一郎さんが、囑託として化石作業所の運営にあたりました。

化石作業所では、「将来の博物館」も念頭に置き、調査、クリーニング、復元、関連資料の収集、レプリカ作製、など、実質的には博物館の活動を押し進めました。

1998年7月、茂螺湾から見つかった化石を基礎にした「足寄動物化石博物館」が開館し、ベヘモトプスの全身復元骨格は展示室東柱類部門の中央に陳列されました。

2000年には、足寄動物化石博物館紀要第1号が発刊され、犬塚則久博士の論文が掲載されて *Behemotops katsuiei* の名前が正式な学名となりました。

今年は、ベヘモトプスが茂螺湾で発見されて25周年です。展示を一部変更して、ベヘモトプスを強調しました。夏休みの間には、発見から現在までの「ベヘモトプス」を写真や新聞記事などの資料でたどります。

### 第二のデスモスチルス？

足寄・茂螺湾沢で化石発見

動物のろっ骨部分はっきり



最初に化石を発見した矢吹勝家さん、黒っぽくみえるのが骨の化石、左側の石にも骨がみえる

【足寄】四年前、デスモスチルスに気づいた。この化石が発見されたのは、足寄町の茂螺湾。発見したのは、矢吹勝家さん、矢吹勝美さん。今月初め、矢吹勝家さん、矢吹勝美さん、足寄町の茂螺湾から、クジラの化石を次々と発見しました。1980年11月、ベヘモトプスのほぼ全身の骨格化石が発掘されました。1980～1983年、矢吹さんたちは、クジラの化石を次々と発見しました。1984年、発見者である矢吹勝家さん、矢吹勝美さんから寄贈を受け、足寄町は、公民館に「足寄化石作業所」を開設しました。江口健一郎さんが、囑託として化石作業所の運営にあたりました。化石作業所では、「将来の博物館」も念頭に置き、調査、クリーニング、復元、関連資料の収集、レプリカ作製、など、実質的には博物館の活動を押し進めました。1998年7月、茂螺湾から見つかった化石を基礎にした「足寄動物化石博物館」が開館し、ベヘモトプスの全身復元骨格は展示室東柱類部門の中央に陳列されました。2000年には、足寄動物化石博物館紀要第1号が発刊され、犬塚則久博士の論文が掲載されて *Behemotops katsuiei* の名前が正式な学名となりました。今年は、ベヘモトプスが茂螺湾で発見されて25周年です。展示を一部変更して、ベヘモトプスを強調しました。夏休みの間には、発見から現在までの「ベヘモトプス」を写真や新聞記事などの資料でたどります。

期日  
7月27日～8月31日

場所  
足寄動物化石博物館  
ロビー

料金  
通常の入館料だけ  
いただきます。

発見を報じる北海道新聞  
の記事（1980年8月22日）

# 化石工房

## 工房で動くもの あなたと職員とヘラクレス・オオカブト



ヘラクレス・オオカブトのオス

足寄動物化石博物館はその名のとおりに化石をあつかう博物館です。実物化石のほかに、プラスチックのレプリカをつかって復元した古生物の骨格を展示しています。また、クジラなどは進化を表すために今の動物（現生）の骨格標本も展示しています。つまり、博物館では展示物は動かず、来館者と職員だけが「動くもの」でした。しかし・・・

いま、化石工房（フォストリーあしよろ）には大きな動くものがいて、化石の人気をうばいそうな事態です。それは、ヘラクレス・オオカブト。町内南5条の小林勝幸さんからいただきました。立派な角を持ったオスが目立ちますが、館内で幼虫から蛹を経て成虫になったメスもいます（その殻もあります）。

### 顕微鏡で コハクの中の虫・博物館のまわりの虫を拡大して見える

工房には、双眼実体顕微鏡（ものを立体的に拡大してみる顕微鏡）もあり、樹液の化石であるコハク（琥珀）の中の虫や、博物館のまわりで捕まえたカマドウマやエゾゼミ、スズメバチなどをどアップで観察できます。「スズメバチの顔」がお勧め。

## 資料情報 足寄にももらったシャチは母親だった

今年2月羅臼町相泊で集団死したシャチの研究が進んでいます。

当館で骨格作成中のメスは、ほかのメスより1mほど小型（全長5.5m）で若いとされていますが、排卵の証拠があり乳腺のなかには乳汁があったので母親であることがわかりました。また、群は1頭の母親かおばあさんから生まれた母系集団に属すること、群の中で1頭だけいた大きなオスは、子どもたちの父親ではなくお兄さんかおじさん（＝メスの兄弟）であることなどが分かってきました。

この夏には、年齢を調べるために骨格用の標本から歯を抜きとります。



当博物館が受け取ったメスのシャチ【AKW-2】のとがった歯

【くわしい情報を博物館に掲示中】

## 休館日 || 7月26日～8月31日全日開館します

博物館の動き 8月（館の行事や職員の動き、来館団体の一部、など）

8月	20日	更別村学童保育所
2日	国際哺乳類学会でヒゲクジラについて発表 （澤村，札幌市）	24日 別海町上春別小学校
3～4日	哺乳類学会参加の研究者来館，標本視察	25日 音更町老人大学
2日	訓子府町教育委員会事業	26日 別海町中西春別小学校
4日	高等学校教諭初任研修会	27日 置戸小学校
7日	銀河線ツアー	網走教育局地域教育推進事業
	栃木県足尾中学校	29日 豊頃町PTA連合会
11日	中札内村放課後児童クラブ	7月23日～8月24日博物館実習生5名受け入れ